

Safety側影響確認一覧

確認内容:「〇〇〇〇発電所〇号機 〇〇〇〇施設の防護対策の追加」に伴うPP設備を設置するにあたり、当該設備の配置に安全設備(設計基準対象施設、重大事故等対処施設(特定重大事故等対処施設を含む))への波及的影響の有無を確認する。

(1)今回新たに設定した防護区域の防護設備

技術基準条文 (左:設置許可,右:工認)	項目	評価項目	評価基準	詳細評価要否検討	検討結果	詳細評価	評価結果	
4	5	地震による損傷の防止	地震に対する波及的影響	地震発生時にPP設備が安全設備の機能に影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、周囲に安全設備(耐震上位クラス機器含む)が存在しないため、地震による倒壊等により安全設備に影響を与えることはなく、また、〇〇〇〇等に設置する侵入防止用の〇〇〇〇は建屋等の構造物に〇〇〇〇等により堅牢に固定されていることから周囲(〇〇〇〇等)への地震による波及的影響はない、また、耐震設計構築物に耐震上の影響を与える新たな防護設備の設置は行っていないことから、詳細検討は不要。	否	—	影響なし
5	6	津波による損傷の防止	津波による波及的影響	津波発生時にPP設備が漂流物として安全設備の機能に影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、津波対策が施された〇〇〇〇施設内または津波が到達しない場所(防潮堤内または津波遡上高さ以上の位置)にあり、津波による波及的影響はないため、詳細検討は不要。	否	—	影響なし
6	7	外部からの衝撃による損傷防止	竜巻による波及的影響	竜巻発生時にPP設備が飛来物として安全設備の機能に影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、〇〇〇〇施設内に設置しているものは飛来物とならず安全設備の機能に影響を与えないこと、また、防護区域境界の監視のために屋外側に設置するカメラやセンサー類についても、竜巻飛来物として想定内の大きさの設備であり、竜巻による安全設備への波及的影響はないことから、詳細検討は不要。	否	—	影響なし
6	7	外部からの衝撃による損傷防止	火山(降下火砕物、火山灰)評価に係る波及的影響	構内に設置されたにPP設備が降下火砕物堆積評価への影響がないことや腐食対策が講じられていることを確認する。	〇〇〇〇施設上(屋上)に設置されるPP設備として、〇〇〇〇屋上の〇〇〇〇センサがあるが、小型軽量の設備で降下火砕物の堆積や降灰面積の増加の懸念がないことから、鉛直荷重の増加はなく、火山(降下火砕物堆積)影響に対する波及的影響はない。 なお、火山影響(腐食等)を考慮すべき〇〇〇〇設備に対し、PP上の観点のみで直接設置するものはないことから(新規制工認にて審査済みのものをPP上の観点から活用しているものは有)、今回新たに設置するPP設備について火山影響(腐食等)を考慮すべきものは存在しない。	否	—	影響なし
8	11	外部火災による損傷の防止	外部火災による波及的影響	外部火災評価にPP設備が安全設備の機能に影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、〇〇〇〇施設内に設置しているか、屋外設備(防護区域境界の監視カメラなど)については防火帯を避けて設置しており、外部火災による波及的影響はないことから、詳細検討は不要。	否	—	影響なし
8	11	内部火災による損傷の防止	内部火災に対する波及的影響	建屋内部に設置されたPP設備が火災影響評価上、安全設備の機能に影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、建屋内部に設置されるものは火災防護の基本設計方針として、万が一の火災発生に際しても早期の火災感知及び消火を行い火災の影響を限定する設計としており、また火災荷重など内部火災に係る影響評価も行うことから、当該設備による内部火災影響評価上において安全設備の機能に影響を与えることはない。	否	—	影響なし
9	12	溢水による損傷の防止	溢水評価に係る波及的影響	構内に設置されたにPP設備が溢水評価上、安全設備の機能に影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、大量の水を保有する設備ではないことから、溢水源としての評価は不要である。また、当該設備の配置は溢水防護区画内のものがあるが、カメラ・センサ類は床面から十分に高い位置に配置設計し、〇〇〇〇室の〇〇〇〇など出入管理用扉については〇〇〇〇建屋を構成する設備として溢水評価に織り込んでいることから、当該設備による安全設備の機能に影響を与えることはない。	否	—	影響なし
11	13	安全避難通路の確保	安全避難通路に関する波及的影響	PP設備が建屋内からの避難に影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、建屋内部に設置されるものもあるが、安全避難通路上に設置しないため、安全避難通路に関する波及的影響はないことから、詳細検討は不要。	否	—	影響なし
37	—	重大事故等の拡大の防止	アクセスルートに関する波及的影響	PP設備が重大事故等発生時に必要となるアクセスルートに影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、出入管理用の扉を除き、通常の巡視や点検作業のアクセスルートおよびSA事象時のアクセスルート上には追加設置されておらず、アクセスルートに関する波及的影響はないことから、詳細検討は不要。また、出入管理用の扉についてはアクセスルートの検討に織り込んでおり、SA事象発生時には、出入管理設備の健全性や警備員の呼び出しを期待せずとも、〇〇〇〇の配備を実施しており、影響はない。	否	—	影響なし
37	—		SA事象時の作業エリアに対する評価	PP設備が重大事故等発生時に必要となる作業エリアに影響を与えないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、SA事象時の作業エリアの周囲には設置されておらず、SA事象時の作業に影響はないことから、詳細検討は不要。	否	—	影響なし
—	—	保安規定に影響はないか?	保安規定要求の有無についての確認	保安規定上に当該設備への要求事項がないことを確認する。	防護区域用として設置するカメラ・センサ・扉等の防護設備は、保安規定上の要求事項がないことから、詳細検討は不要。	否	—	影響なし

技術基準左欄 : 設置許可に係る技術基準(実用発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則)

技術基準右欄 : 工認に係る技術基準(実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則)